

①

演出ノート

「みみず ずんずん」

脚本・画 かこ まさみ

みなさん こんにちは。 ぼく みみずです。

げんきよく

ほんとうの ぼくには めが ありません。

でも、きょうは みなさんに あえるので、
とくべつに めを つけてもらいました。

「うーん。よくみえる」

うれしそうに

ぼくは つちの なかで くらしています。

あなほりが だーいすき。

みなさんは あなほり すきですか？

【子どもたちの反応に答える】

子どもたちの声をよく

(例) そう、すきなひと、おおいですね！

聞いて、臨機応変に答える。

じゃあ、 どうやって あなを ほりますか？

る。

【子どもたちの反応に答える】

子どもたちの声をよく

(例) なるほど。

聞いて、臨機応変に答える。

— ぬく —

る。

②

ぼくは からだで ほるんです。

ぼくの からだ、 つるつるで やわらか

そうに みえるでしょ。

でも、じょうぶな けが はえてるんですよ。

そのけで、がつしり つちを おさえるんです。

そして、あなを ほるときは、
からだか かたく なるんです。

みみず ずんずん みみ ずんずん。
みみず ずんずん みみ ずんずん。

こんなふうに ぐんぐん ほれるんです。

— ぬく —

③

ぼくは たべることも すきなんです。
みなさんは どんな たべものが すき
ですか？

【子どもたちの反応に答える】

（例）へえ、どれも、おいしそうですね。

ぼくは つちを たべるんです。
つちの なかに まじっている
くさった きや はっぱを たべてます。
バナナの かわや メロンの かわも
すきなんですが あまり ありつけませ
ん。

— ぬく —

子どもたちの声をよく
聞いて、臨機応変に答え
る。

④

もりもりたべるよ ずん ずん ずん
おちばが だいすき ずん ずん ずん
こえだも たべるよ ずん ずん ずん
みみず ずんずん みみ ずんずん
プリッ

― A線までぬく ―

わああ、うんちが でちやった！
プリッ

― B線までぬく ―
プリッ

― C線までぬく ―
プリップリッ

― D線で止めてから ぬく ―

⑤

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓓ

うんちが いっぱい でちやいました。
ぼくは つちの なかに うんちを す
るんです。

みなさんは きょうは いいうんちが
でましたか？

【子どもたちの反応に答える】

(例) そう、よかったね。

ぼくの うんち りっぱでしょ。

ぼくの うんちは つちを げんきに
する ちからがあるんです。

――ぬく――

子どもたちの声をよく
聞いて臨機応変に答え
る。

⑥

ぼくの うんちは えいようまんてん。
いっぱい あると、ちきゅうは おおよろ
こび。

きや くさや やさいたちが
げんきに ぐんぐん そだつんです。

― 線までぬく ―

ぼくが きらいなのは あめのひと
おひさまです。

あめが ふると、つちの なかで、
いきが しにくくなるんです。

「く、くるしい」

― ぬく ―

くるしそうに

⑦

だから そとに でるんです。

「はあ、やっと いきが できる」
でも、のんびりしてたら、あめが
やんじやって、おひさまが でると、
もう たいへん。

――線までぬく――

「ぎゃあー。たすけてー。あつーいよー」

――ぬく――

ほっとしたようすで

たいへんなようすで

だから、ぼくを みつけたら、
そつと つちの なかに もどしてね。
ちきゅうが よろこぶ おいしい つち
を

いっぱい つくって あげますよ。

みみず ずんずん みみ ずんずん
ブリッ
みみず ずんずん みみ ずんずん
ブリッ

(おしまい)